豊後大野市民病院広報誌

くすのき

第22号 | 2017.1　発行元：広報委員会

目次

■院長年頭挨拶 …… 2P
■看護部長年頭挨拶 …… 2P
■第6回ふれあい健康まつり …… 3P
■訪問看護特集 …… 4～5P
■出張健康教室 …… 6P
■ラボ通信 …… 7P
■コラム／人権標語／編集後記 …… 8P

日本医療機能評価機構 ver.6.0 認定病院

病院の理念

◆地域の中核病院として、地域住民の生命と健康を守るために、安全で最新の医療と救急医療の提供を目指す。

◆豊かな地域づくりのために、保健予防活動に努める。

ホームページはこちら

〒879-6692　大分県豊後大野市緒方町馬場276番地
TEL 0974－42－3121　FAX 0974－42－3078
ホームページアドレス　http://www.bungo-ohno-hp.jp/

豊後大野市

年頭のごあいさつ

病院事業管理者 兼 院長　木　下　忠　彦

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆様方には日頃より当院の診療業務に関してご協力をいただき、大変感謝しております。これから寒さが増し、インフルエンザやノロウイルスによる感染症も増える時期となるため、皆様も体調には十分気を付けていただきたいと思います。また、昨年の春には熊本県を中心に大分県、豊肥地域にも被害が出ました大きな地震が起こりました。自然災害はいつ襲って来るか分かりません。皆様方におきましては「いざ！」という時の備えにも十分注意をお願いします。

さて、毎年記させていただいていますが、高齢化による社会情勢の変化は年々そのスピードを増しています。医療界に関しては、2025年のわが国において推計される年齢別人口、疾患別罹患人口、必要とされる医療の程度などの推計データと各地域で必要とされる入院ベッド数等が国から示され、これらのデータから2025年の医療供給体制構築の指標として、都道府県において2次医療圏毎の地域医療構想が策定されました。大分県全体では（精神科を除く）入院ベッド数を2014年現在の18,804から22.1%削減の14,649へ、また私たちの住む豊肥地区（豊後大野市＋竹田市）では入院ベッド数913から33.4%削減の608との推計値が示されていました。国の考える医療提供はその適応をより厳格にすることと思われます。すなわち、入院治療（医療）が本当に必要な期間のみ医療が対応し、入院期間中からのリハビリと退院後の生活支援を準備していく。生活支援は公的支援に限らず、地域の住民をも巻き込んだ地域ぐるみで行っていこうとするものです。以前の発病→治療→生活復帰までを病院で完結させるものから、地域で医療・介護・生活支援を提供する「地域包括ケアシステム」体制への移行が進められています。

市民病院としましても地域医療連携室の充実、リハビリテーション機能の拡充、入院ベッド体制の変更、電子カルテシステムの導入など社会情勢の要求に応えるよう改善に努めて来ました。今後も豊後大野市のみならず、竹田市も含めた豊肥地域の行政、医療機関、介護福祉施設とのコミュニケーションを図り地域の皆さんに役立つ病院作りに職員一同、努力していきたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年頭のごあいさつ

看護部長　副　田　明　美

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、4月熊本地震により本震後の度重なる地震のなか、当院は災害拠点病院としての使命を果たすべくDMATの派遣により阿蘇での活躍と震災で医療を受けることができなくなった透析患者の受け入れなど職員一丸となり、11名の方を受け入れ災害拠点病院の役割を果たしました。今後も、災害拠点病院として、この経験を活かし役割を十分に果たせるように引き続き強化に努めていきたいと思います。

さて、在宅医療の推進が図られている現状のなか当院の取り組みについて紹介させていただきます。

1. 在宅への退院支援の強化

患者、家族の方々が安心して継続した療養ができるように退院支援の強化として、豊肥圏域では情報共有ルールによる多職種連携でのチーム医療連携です。地域の方々の訪問看護、担当ケアマネージャー、理学療法士、栄養士、薬剤師などと連携し退院しても困らないように相談支援を行っています。特に外泊時は、訪問看護を活用し外泊時に在宅での状況を支援することで在宅生活をスムーズに過ごせるように努めています。そのため、看護師の在宅支援研修への参加と訪問看護への同行訪問研修を実施し患者家族への退院支援の充実を図ることができるようにしました。お困りごとがありましたら、地域医療連携室で相談員が対応していますので、お気軽にご相談ください。

2. 専門性のある看護師の育成

他職種とのチーム医療の推進をするため認定看護師を育成してきました。新たに認知症看護認定看護師が誕生し4名が、地域の健康教室や施設等で看護の質向上に貢献するとともに住民への健康予防、普及啓発活動により専門的なケアを提供できるようにしています。認知症については、物忘れ外来を設置し認知症看護認定看護師がリエゾンチームと協働し外来と入院の相談支援の充実を図れるように強化しました。豊肥圏域内の施設等でもお役に立てるよう専門性のある看護師をご活用ください。

3. 医療安全と感染防止対策

医療、看護の質の向上のため医療安全のメンバーによる院内環境ラウンドを行い、課題の分析と対策を行い改善に努めています。また、感染防止においても感染看護認定看護師を中心に院内外の感染対策に取り組み安心、安全な医療を提供できるように取り組んでいます。今の時期インフルエンザや感染性腸炎等の感染症が多い時期ですので、予防ケアが行えるようパンフレットを準備しています。看護師にお気軽にご相談ください。

4、スキンケア外来（看護専門外来）の設置

看護専門外来（スキンケア外来）では、皮膚・排泄ケア認定看護師による人工肛門をつくられた患者さんの装具選択や装具の見直し、皮膚障害に対するケア、おむつによる皮膚障害や褥瘡など傷のケア方法など相談支援ができますので、ご利用していただければと思います。

まだ、十分とは言えずご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、地域のみなさまに信頼され、満足していただけますよう職員一同努力してまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

第6回 ふれあい健康まつり

平成28年11月26日(土)『広げよう　健康づくり　笑顔の輪』をテーマに、第6回 豊後大野市民病院ふれあい健康まつりを開催いたしました。

①開会式
②すがおこども園「The Little Drum Tykes」によるマーチング演奏
③「高崎山のサル社会」
　藤田 忠盛 氏による講演
④緒方こども神楽
⑤身体計測・健康相談
⑥オペ室体験
⑦メディカル・アロマ
⑧訪問看護の利用者・家族の作品展示
⑨青空屋台コーナー・バザー

多数のご来場ありがとうございました。

訪問看護をご存知ですか。

訪問看護とは

住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく療養生活が送れるように、看護師がお宅を訪問して看護ケアを提供します。

すこやか訪問看護ステーション

- 定期的な訪問時間は決めていますが、利用者さんが安心して過ごせるために、24時間365日、いつでも対応できる体制にしています。
- 小児から高齢者まで、どのような疾患の方でも温かい家族や住み慣れた地域で過ごせるよう利用者や、家族の思いに寄り添う看護を目指しています。

退院が決まったら

- 医師や看護師がいなくて大丈夫だろうか…
- 急に悪くなったら、どうしよう…
- 私に介護ができるのだろうか…

など、不安なことがたくさんあると思います。

そんな不安を入院先の医師や看護師と連携してご相談に応じたり、在宅生活を支えるケアマネージャーさん、ヘルパーさん達と連携をとりながら介護方法や環境などについての不安も一緒に考えながら支援していきます。

主な仕事内容としては

①健康チェック②入浴介助などの身体の保清③医療機器の管理（吸入・吸引、人工肛門、人工膀胱、在宅酸素、人工呼吸器、チューブ類の管理など）④床ずれの予防や手当⑤リハビリ⑥内服指導と管理⑦介護相談⑧終末期ケアなど

一日の流れ

8:15〜9:30
ミーティング、訪問準備、利用者さんやケアマネージャーさんからの電話対応

9:30〜12:30
利用者さん宅訪問（2〜3人）

12:30〜13:30
ミーティング、昼食、事務作業

13:30〜16:30
利用者さん宅訪問（2〜3人）、退院支援カンファレンス等の会議

16:30〜
事務作業、利用者さんや家族からの相談対応、ケアマネージャーさんとの業務調整

訪問看護に携わって

私が訪問看護に携わるようになって6年目になります。その間、35例の在宅看取りの利用者さんに出会いましたが、どのお看取りもご家族の愛情が伝わってくるものばかりで、今も心に残っています。

人生最後の時間を『自宅で家族と一緒に過ごしたい』と望む人、『家族や周囲に迷惑をかけたくないから、病院や施設で過ごしたい』と望む人、どちらかを選択するのは、とても難しいことですが、本人と本人を支える家族が決めなければなりません。

しかし、在宅で過ごすことを望んでも家族が医療処置を行うことへの負担や、症状の悪化で介護の負担が増大したことにより、本人や家族の迷いや不安が大きくなり、どうしたらよいのか分からなくなるかもしれません。

そのような迷いや不安に対して医師、看護師等の医療関係者やケアマネージャー、ホームヘルパーなどの多職種と連携して支援する取り組みは、これからますます重要になってくると思います。

私たち訪問看護師は、生活の場を知る介護の視点も併せ持った医療者として、その役割は大きいと思っています。

相談される方の中には「こんな状態で在宅は無理だろう」、「最後は病院で死ぬんでしょ」と言われる方がいます。大切な方の傍にいること、住み慣れた家の空気や音は、病院とは違った不思議な力があると思います。

「病院から家に帰りたい」、または「入院しないで家族や親しい人と共に家で過ごしたい」という療養者や家族の願いに応えるため、できる限りのサポートを行い、「在宅で過ごせてよかった」と思える日々を過ごしていただきたい、それが私たち訪問看護師の願いです。

訪問看護師長　山形

事例紹介

在宅看取りを行った事例をご紹介します。

Sさん（67歳）は奥さんと2人暮らしで、癌ターミナルでしたが最後まで家で過ごしたいと強く希望されていました。

奥さんと大好きな焼酎と、娘のように可愛がっていた子犬に囲まれた生活をされていました。

ある夜、トイレでSさんが倒れているのを、Sさんと一緒に寝ていた子犬が奥さんへ知らせに行きました。私たちにも連絡があり急いで駆けつけましたが、奥さんと子犬に見守られ息を引き取られました。体を綺麗にしている間も子犬はずっとSさんの布団に潜り寄り添っていました。

奥さんは、「最後まで本人の望むように家で看取れてよかった。訪問看護師さんがいてくれたから希望が叶えられた」とおっしゃってくれました。

訪問看護を利用するには

- 受診している病院の医師、看護師、地域連携室の職員
- 市町村の相談窓口
- 地域包括支援センター
- ケアマネージャー

または、直接、訪問看護ステーションへご相談ください。

出張健康教室

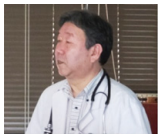
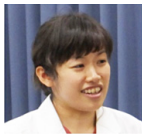
豊後大野市民病院は「地域の中核病院として、地域住民の生命と健康を守るために、安全で最新の医療と救急医療の提供を目指し、豊かな地域づくりのために保健予防活動に努める」を理念に掲げています。
この理念に基づき、地域の皆様との交流、健康づくりへのお手伝いの一環として、職員による出張健康教室を用意しています。皆さまが知りたい、聴きたい講義についてお申し込みください。

今年度は12回の出張健康教室を実施しています。11月までは市内の12の会場で高齢者・女性学級・乳幼児学級・サロン等の会に出張しました。講師は院長はじめ副院長、医師、認定看護師、理学療法士等で次の内容等のお話をさせていただきました。

○医師のお話
- ・癌にならないための生活習慣
- ・最近の医療事情
- ・「どこかおかしい！」急病時の判断と対応／急ぐ病気、急がない病気 急性期と慢性期の考え方
- ・子どもの病気について ／子どもの予防接種、アレルギー
- ・健康に自分らしく生きるために

○認定看護師
- ・認知症ってどんな病気？

○理学療法士
- ・テーピングの講習会／いきいき体操

出張健康教室　実施一覧

月日	名　称	会　場	参加人数	講　師
6月7日	犬飼町若鮎学級＆女性学級	犬飼公民館	22人	院長
6月14日	千歳町高齢者学級	千歳公民館	20人	院長
7月12日	千歳町女性学級	千歳公民館	11人	院長・内科部長
7月14日	三重原いきいきサロン	三重原公民館	32人	院長
8月19日	中学校養護部会テーピング講習会	市民病院会議室	8人	理学療法士
8月24日	大野町大小生き生きサロン	大鳥支部公民館	18人	院長
9月9日	千歳幼稚園 家庭教育学級	千歳幼稚園	19人	副院長
10月27日	千歳乳幼児学級	千歳健診センター	18人	小児科医師
11月18日	芦刈サロン	芦刈公民館	9人	院長
11月21日	朝地町志賀サロン	志賀公民館	23人	院長
11月24日	犬飼町老人クラブ「健康教室」	犬飼公民館	59人	院長・内科医師
11月24日	藤華学園後援会	ますの井	160人	院長

感想・要望・意見をいただきました

感想
- ・今日はとても良いお話を聞きよかったです。ユーモアがあって、楽しく勉強できました。
- ・健康寿命のばして自分の事を自分でできる生活目指したい。近所の方のおせっかい・・・話したり見守りしたりしていきたい。
- ・知人にタバコ吸っている人がいるので、止めるよう注意します。
- ・長男にタバコをやめさせたいが・・・一番ガンになるのでやめさせる様話します。塩分を取りすぎない様気を付ける。
- ・タバコでのガンになるリスク、体全身がガンになりやすくなることに驚いた。
- ・急ぐ病気（めまい、熱、頭痛、外傷など）わかりやすく症状を話してくれて、とっさの時に出来るかどうかわかりませんが、聴いて良かったです。
- ・「頭が痛い」だけでと思っていても関連症状の違いで不安になりそうで、見極めるの知識をもっと知りたかったです。
- ・麻しんが流行しつつあるとニュースで聞いて気になっていたので、その話が聞けてよかった。
- ・予防接種やアレルギーについて具体的な注意点や問題点を交えながらだったので分かりやすかった。

要望・意見等
- ・地域の病院として今後も皆に親しまれる病院を目指して下さい。
- ・なかなかこうした教室に行けてなかったので、またぜひ機会を作っていただけると嬉しいです。

豊後大野市民病院出張健康教室のしくみ

開催日時：可能な限りご希望の日時で調整いたします。90分以内を基本に考えています。
講座内容：講座の内容は、ご希望項目にそって調整いたします。日常の業務の中での調整となりますので、依頼されました健康教室に都合が合う職員を派遣します。
申込対象：地域住民、市民団体、公益法人、企業等が主催して実施する参加人員がおおむね20人以上の集会等 です。（政治・宗教・営利目的等の催し等を除きます。）
派遣講師：市民病院の医師はじめ他の職員
会　　場：申込者で準備願います。経費負担、講師派遣の費用は無料です。ただし、会場の準備にかかる経費（会場借上料、設営費用等）は申込者負担です。
申込方法：希望実施日の1ケ月前までに、地域医療連携室までに申し込んでください。まずはお電話ください。

申込先・お問合せ先　豊後大野市民病院　地域医療連携室　TEL（0974）42-3121（代表）・（0974）42-3149（直通）　FAX（0974）42-3085

ラボ通信

アレルギー検査のご紹介

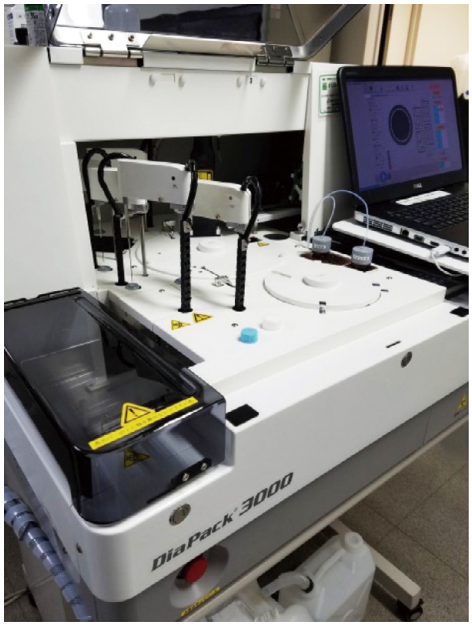
当院では、アレルギーを引き起こす物質（以降アレルゲンとする）に反応する抗体「IgE」を測定しています。このIgEの量を調べることでアレルギーの有無や程度を数値化してみることができます。IgEは個々のアレルゲンに対して無数に存在するため、例えばダニに対するIgEやスギに対するIgEを調べてそれらが高ければダニ、スギに対してアレルギーがあると説明します。このように、ある特異的なアレルゲンに対するIgEを個別に調べることを、特異的IgE検査（RAST）と呼んでいます。それに対し、不特定のIgEの合計を調べる検査を非特異的IgE検査（RIST）と呼びます。

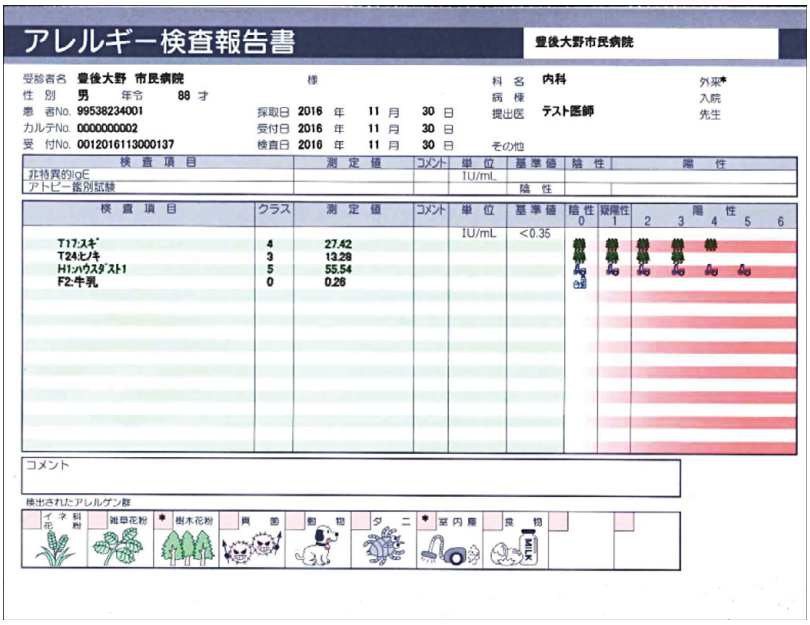
当院で可能なアレルギー検査項目

- **非特異的IgE検査（RIST）**
- **特異的IgE検査（RAST）**

スギ、ヒノキ、ヤケヒョウダニ、コナヒョウダニ、カモガヤ、ブタクサ、ハウスダスト1、卵白、牛乳、小麦、大豆、米、ω-5グリアジン、エビ、カニ、ネコふけ、ペニシリウム、アスペルギルス（計18項目）

上記のアレルギー項目は比較的多くの人にみられるものを当院で測定しています。採血から検査結果がでるまで約30分と迅速な対応をとっています。
上記以外で疑わしい項目は外部委託で1週間程お時間をいただきます。
気になる方は当院までご相談ください。




アレルギー検査報告書

豊後大野市民病院

受診者名 豊後大野 市民病院 様
性 別 男 年令 88 才
患 者No. 99538234001
カルテNo. 0000000002
受 付No. 0012016113000137
採取日 2016 年 11 月 30 日
受付日 2016 年 11 月 30 日
検査日 2016 年 11 月 30 日
科 名 内科
病 棟
提出医 テスト医師
その他
外来 入院 先生

検査項目	測定値	コメント	単位	基準値	陰性	陽性
非特異的IgE			IU/mL			
アトピー鑑別試験				陰性		

検査項目	クラス	測定値	コメント	単位	基準値	陰性 0	疑陽性 1	陽性 2	3	4	5	6
				IU/mL	<0.35							
T17:スギ	4	27.42										
T24:ヒノキ	3	13.28										
H1:ハウスダスト1	5	55.54										
F2:牛乳	0	0.26										

コメント

検出されたアレルゲン群

コラム

乗初（のりぞめ）

乗初（のりぞめ）や孫の運転緊張す　正木和子

自動車の運転を誤り、通学の子供たちの列や、商店に飛び込む事故が後を絶ちません。最近福岡市ではタクシーが病院のロビーに突込み、患者さんと面会の方など死傷者が多数出た事故がありました。車は優れた文明の利器の一つです。車社会という言葉通り、日常生活も地域の社会構造も、車の増加とともに変ってきました。いっぽうで車は大きなエネルギーを内蔵し、操作次第では凶器になるのも明白です。猪や熊にやられたときは災難ですが、交通事故は違います。人が運転するのですから、被害者だけでなく加害者が生まれます。車は日本の産業の重要な柱です。最先端の技術開発を続けるだけでなく、利用の面でも世界に規範を示す責任があると思います。乗初は新年の季語ですが、冒頭の句には、免許取り立ての意味が含まれているのでしょう。ドライバーには、初心忘るべからずの緊張感を常に持っていただきたいものです。

死因分類で交通事故死と同じ「不慮の事故」に属し、近年増加が顕著なのが窒息死、次いで転倒・転落、溺水です。窒息死は平成19年に交通事故死の数を超えています。不慮という言葉には、想像もしなかった、思いもよらない、という意味合いがあります。しかし、いつ起こるか分からない自然災害に対してさえ、それを予期し対応する準備や訓練がなされる今日です。交通事故や窒息、転倒・転落、溺水に対しても「不慮」ではなく、単なる憂慮でもなく、有慮の余地があります。冬場は特にお風呂での事故が増加します、対策を考えましょう。

豊後大野市「人権を守り、差別をなくす」標語

その勇気
すてきな明日に
つながるよ

編集後記

家族の入院に際し、看病のために病院へ通う機会がありました。入院とは、本人が辛いのはもちろんなのですが、看病する家族にとっても体力と気力のいる大変なことでした。そんな心身共に疲れている時に、患者だけでなく、家族への気配りも欠かさないスタッフの方の優しさが身に染みました。

「人の心に響くケアを提供できるような医療者でありたい」と改めて思いました。㊕

当院敷地内では全面的に禁煙となっております。ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

※表紙の写真は、訪問看護職員です。